

ポーラ、石灰石が主原料のLIMEX製不織布バッグを採用 環境負荷低減への取り組みを強化

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：及川美紀）は、2020年9月11日より、旗艦店「ポーラ ギンザ」や百貨店ポーラコーナーのショッピングバッグに、株式会社TBM（本社：東京都中央区、代表取締役CEO：山崎敦義）が開発する、石灰石を主原料とする新素材LIMEXを使用した不織布バッグを採用いたします。LIMEX製不織布を使用したショッピングバッグは、化粧品メーカーではポーラが初めての導入となります。

本ショッピングバッグは、繰り返し使用することが可能であり、従来使用していた紙製バッグと比較し、水や森林資源の削減に貢献できます。また、LIMEXを使用していない不織布バッグや石油由来プラスチックを使用したレジ袋などと比較し、石油資源の使用量を削減でき、焼却処分した際のCO₂排出量を抑えることが可能です。



▲LIMEX製不織布を使用したショッピングバッグ
(旗艦店 ポーラ ギンザ、百貨店ポーラコーナーにて展開)



▲LIMEXを使用したショッピングバッグ
(全国のポーラ ザ ビューティー・ショップにて展開)

なお、百貨店コーナーでは、不織布バッグの他、既に、カタログファイル、店頭コルトンの電飾ポスター、パネルシート、ステッカーなどにLIMEXが採用されています。

また、全国の「ポーラ ザ ビューティー」を含むポーラのショップでも、11月以降順次、これまで使用していたポリエチレンバッグをLIMEXを使用したバッグに切り替えます。

従来の紙製のショッピングバッグに関しても、11月中旬以降順次、ザ・バック株式会社が制作する、森林保護につながる森林認証紙やボタニカルインキを採用し、プラスチックの紐を紙紐に変更するなど環境に配慮した仕様のバッグに切り替えていきます。さらに、ザ・バック株式会社が推進する「ザ・バックフォレスト環境基金」に参加することも決定いたしました。紙バッグ仕入額の一部を、ザ・バック株式会社とNPO法人「地球と未来の環境基金（EFF）」とが協働する森林保全及び植林活動にお役立ていただきます。

ポーラ公式オンラインストアでは製品のお届けの際、これまでガムテープで閉じる仕様の段ボールにミラーマットを敷き隙間に緩衝材を入れた状態で発送していましたが、9月14日以降、フィルム付きのパットとワンタッチ式段ボールを採用し、緩衝材をはじめとする廃棄物の少ない資材梱包へと変更いたします。

ポーラは本年6月、誰もが「美しく生きる」ことができる社会を目指す「サステナビリティ方針」を策定し、2029年までのSDGsの目標数値を定めました。ゴールのひとつとして、『未来に、次世代に環境をつなぐアクション』を掲げ、長年実施している主力商品のリフィル化やWEBパンフレット、森林認証紙やフェアトレード香料の使用、マイクロビーズ対応など、「お客さまの嬉しい」と「地球にやさしい」の両立に取り組んできました。今後も、お客さまへの新たな価値の提供を前提としながら、環境に配慮したサービスを目指してまいります。

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ コミュニケーション戦略部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3
TEL：03-3494-7119 FAX：03-3494-6198

【お客さまからのお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111

【LIMEX（ライメックス）について】

LIMEXは、株式会社TBMが独自に開発した、炭酸カルシウムなど無機物を50%以上含む、無機フィラー分散系の複合素材です。

ポーラはこの度、環境負荷低減の新たな取組みとして、ショッピングバッグや販促品の切り替えを検討する中で、繊維への適切な炭酸カルシウム配合量を算出することで、他の不織布と同等の重さを実現した不織布バッグを採用しました。

ポーラの商品をご購入いただいた方にお渡しする本ショッピングバッグはサブバッグなどとして繰り返し使用することが可能であり、従来使用していた紙製バッグと比較し、水や森林資源の削減に貢献できます。また、LIMEXを使用していない不織布バッグや石油由来プラスチックを使用したレジ袋などと比較し、石油資源の使用量を削減でき、焼却処分した際のCO₂排出量を抑えることが可能です。



ショッピングバッグ



カタログファイル&ステッカー



電飾フィルム

※参照：株式会社TBM プレスリリース

https://tb-m.com/wp-content/uploads/2020/09/POLA_Shoppingbag_Pressrelease.pdf

「石灰石を主原料とするLIMEX製不織布を使用したショッピングバッグをポーラが採用
～新たな環境負荷低減の取組みとして、ワンウェイバッグからリユーズブルバッグへ～」

【ザ・パックフォレスト環境基金について】

ザ・パック株式会社は、1993年バガスペーパーから始まり1995年からはケナフペーパー、そして1999年にはスリアルペーパー、2002年3月よりは、アシペーパーの開発など、環境に配慮した素材を商品化しています。

また、それらの環境対応製品の販売額の一部を「ザ・パックフォレスト環境基金」として、NPO法人“地球と未来の環境基金（EFF）”に拠出し、協働で独自の森林保全及び植林活動を推進しています。

<https://www.thepack.co.jp/environment/forest.html>

【ポーラ 2029年 サステナビリティ方針 目標】

社会 ジェンダー、年齢、地域格差、様々な「壁」の解消



- ①地域起業オーナー数：月商500万円以上のショップオーナー※を1,200人まで増やし、組織力が高い組織を拡大する。
②地方自治体（NPO・NGO含む）との協業件数：28件。協業から生まれる新しい価値を地域に還元。
③地域の中でロールモデルとして認知されるショップオーナーの数：110人。



- ①女性管理職比率：総合職従業員の男女比率と同等にする。
②美容職のダイバーシティの推進：ジェンダーのみならず、障害者・グローバル対応を推進する。
③育休取得率：男性・女性ともに、100%取得。



事業としての協業の拡大：全国協業実施へ。

経済 多様な人が、健康に、イキイキと活躍する機会の創出



- ①健康事由での退職者を限りなくゼロへ：がん罹患による退職者 0人
②アピアランスケアを理解し、各ショップ・コーナーの責任者または主力ビューティーディレクター※・ビューティーコーディネーター※が適切にアドバイスできる状態にする。
③ビジネスパートナーの健康診断受診率：80%へ。段階的に受診率や再診率を上げる。



- ①60歳以上のビューティーディレクターの数を増やす。（2019年12月現在：合計 11,894名）
②疾病・子育て・介護等で時間に制約がある人も働きやすい体制を整える。自由で自分らしい働き方を提供する
ことで、一人ひとりが高いパフォーマンスを発揮し、生産性・創造性の向上を目指す。



外部パートナーとの連携や、働き方改革から、新しい価値を創出。

環境 未来に、次世代に環境をつなぐアクション



- ①スコープ1・2でCO2排出量を26%にする。
②お客さまへの新たな価値提供の実現を前提としながら、同時に、環境に配慮したサービスを提供する。



RSPO認証パーム油使用率：100%

※ショップオーナー：全国の地域でポーラショップを経営するオーナー

※ビューティーディレクター：全国に展開するポーラのショップの中で、カウンセリングやエステなどをはじめとした美容を通じてお客さまのありたい姿を引き出し価値を提案する、プロフェッショナルな販売員。

※ビューティーコーディネーター：百貨店ポーラコーナーで、カウンセリングをはじめとした美容を通じてお客さまのありたい姿を引き出し価値を提案する、プロフェッショナルな販売員。



FAIRY JAPAN
POLA

ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」のオフィシャルパートナーです。